

2019 年度 課題研究ゼミ

課題研究ゼミチーム

課題研究ゼミとは

- ・グローバル化で生じた社会課題の解決法をみんなで考える講座です。
原則として火曜日の 15 時 20 分～17 時、年間 15 回の活動をします。
年末に韓国を訪問し、現地の高校生と一緒に社会課題の解決を考えます。

今年のテーマは、

- 1 日本と韓国で遅れているジェンダー平等を推進するにはどうしたらよいか。
- 2 一番近い国・韓国との関係を発展させるにはどうしたらよいか。

※韓国巡検費用を半額補助します（生徒負担は5万円以下）

※ゼミ修了者には、学校設定教科「課題研究ゼミ」の単位（2単位）が与えられます

6月から10月の活動（ジェンダー平等推進の方策）

- ・グループごとの研究発表＋討論
- ・国連機関 UN Women によるワークショップ（7月）
- ・東京・国連大学での研究発表（10月）

今までの先輩たちの活躍の様子は、次を参照。

<https://www.shiseidogroup.jp/genderworkshop/>



10月から1月の活動（日韓関係発展の方策）

- ・日韓歴史問題を考える
（韓国人留学生との意見交換）
- ・ハンゲル講座
- ・韓国訪問（12月20日～23日）
ソウル市内巡検
高陽国際高校生徒とのフィールドワーク、
意見交換会

全日本高校生模擬国連大会（11月）にもチャレンジ

<先輩たちの声・昨年のテーマ＝格差問題>

「意見を言う、他人の意見を聞く。話し合うということの意義がすごくわかった。さまざまな格差を深く調べ、どう解決するべきかを話し合ったが、なかなか答がでないことが多かった。どんな案にもメリットとデメリットがあつて、うまくいきそうにないなど、話し合いがよく止まった。でも、そうやって考え続けることにこそ意味があると感じた」

「韓国での交流会とフィールドワークでは、国は違っても、同じ高校生であることから、互いの国のアイドル、ドラマ、マンガを楽しそうに語る様子を感じられた。行きたかった現地のスーパーと、弘大で、私が興味があった現代の韓国の文化を感じることができ、本当に幸せだった。一方で、意見交換会では、全員が歴史問題についてしっかりと自分の意見を持っており、とにかく前向きに解決を目的とした話し合いが出来た気がする。メディアで見ると、互いに背を向けた状況ではなく、たいへん有意義な時間を過ごすことができたため、より韓国のイメージがよくなった」

「韓国の生徒はみな優しく、努力家で、イメージとはまったく違った。それぞれが自分の意見を持っていて、それをぶつけることで話し合いを深めていく姿を見てすごいと思った。交流することができて本当によかったと思う」